

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議

だい 1 1 期 だい 1 年 だい 3 回 だい 1 にち
(第 1 1 期 第 1 年 第 3 回 第 1 日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2016 (平成 28) 年 10 月 16 日 (日) 午後 2 時 ~ 5 時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 23 人

葉 元聡、チャクラヴァアルティアー アルナンシュ、金 スンオグ、タカハシ
ライゼール ラモス、レ ベト ギア カン、幕内 嘉雯、河本 ファビオ
良則、ヘイ ジャフィ、スタント イルワン、ピーターソン ケリー、河 相宇、
バルトコバ オクサナ、ホサニ アハマド ユースフ、牟 鳳菊、
ディットマー ダニエラ、ザスカ カリーナ、ケゼングア エドワード
ムウインビ、徐 智妍、キースタ ケーシー シェイ、蔣 香梅、ヴィラマー
ジェリー、鎌田 ファチマ、ヒラチャン アスカ

(2) 事務局

鈴木 室長、小川 担当課長、須藤 課長補佐、小沢 係長、岩切 係長、
丸橋 職員、西村 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 2 人

5 会議次第 (公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ヘイ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議2016年度、第3回第1日を開催する。本日は、韓さん、サリさん、鈴木イエレナさんから欠席の連絡が届いている。次に、本日の日程と配付資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

ヘイ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

ヘイ委員長「それでは、議事に入る。まずは2017年度の会議日程についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局丸橋職員が資料2に基づき説明。)

ヘイ委員長「どうしても変更してほしいという意見がなければ、案の通りで決定したい。日程案に賛成の人は、手を挙げてください。(全員賛成)全員賛成なので、決定とする。次は、オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明。)

ヘイ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、まずはスケジュール案について確認したいが、資料の通りでよいか。(異議なし)では、次にグループ数についてだが、案では6つとなっている。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)グループは6つということで決めた。グループ分けについては、A案とB案という説明があったが何か質問はあるか。(なし)では、意見はあるか。(なし)それでは、決をとる。A案に賛成の人は手を挙げてください。(賛成多数)では、A案で決定とする。

次に、話し合う分野(テーマ)について、決めることになっているが、今日の実行委員会で、今日のグループワークを踏まえてから決めた方がよいのではないかという意見が出た。たしかに、その方がよいと思うので、グループワークの後に回すことにしたい。(異議なし)次は、ゲストについてだ。案では、コメンテーターを1人ということで、川崎市のことや外国人のこと、行政の制度やサービスに詳しい人ということになっている。そのような方針で事務局に任せることでよいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、事務局は調整をお願いします。次に、役割分担と通訳について事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料3-1、3-2に基づき説明。)

ヘイ委員長「何か質問などはあるか。」

レ ベト委員「当日は出張で日本にいないので、申し訳ないが不参加となる。」

ヘイ委員長「次に、司会について決めたい。司会は2人だ。実行委員会からは河さんが候補として挙がっている。ほかに司会をやりたいという人はいるか。」

<立候補>

- ・デイトマー委員

ヘイ委員長「ほかに司会をやりてみたいという人はいるか。（なし）では、いないようなので、オープン会議の司会については河さんとダニエラさんをお願いしたい。みなさん、それでよいか。（異議なし）実行委員以外の人の役割について変更の希望などはあるか。（なし）通訳のリストについては、誤りなどはあるか。あれば、あとで事務局に。それでは、オープン会議については、ひとまずここまでにする。次は、グループワークだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明。）

ヘイ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、時間も限られているので、さっそくグループワークを始めてください。時間は15時35分までだ。その後、10分間の休憩をはさんで、15時45分から全体会を再開する。」

【グループワーク】

（休憩）

ヘイ委員長「それでは時間になったので、再開する。各グループからの報告を、まずはAグループからお願いする。」

金委員「議論が集中した3点を中心に紹介する。1点目は、防災についてだ。神戸や熊本の震災のときも、東日本大震災のときも、やはり外国人に情報が届かなくて、大使館などからの連絡で一時帰国した人が多かったという話が出た。緊急時には、緊急地震速報とか避難勧告とか避難準備情報などがメールで配信されていると思うが、それが日本語しかないということで、多言語化はすぐには無理でも、せめて英語で配信することができないかということで議論がすごく盛り上がった。それと、被災した人たちのケアについて、やはり母語で話を聞いてもらえるような体制が必要ではないかという意見も出た。2点目は、

年金について。年金に加入している人が半数しかないというところに注目した。制度がよくわからないという意見や損してしまうのではないかと不安があるといった意見が出た。相談できる窓口が欲しいという意見が出た。3点目は、就労、仕事について。介護の分野では外国人のための資格取得の講座があるが、介護だけではなく、とくに電気や技術といった分野でも外国人がキャリアアップできるような資格取得のためのサポート体制が欲しいという意見が出た。」

ホサニ委員「3点以外のことについて少し補足したい。観光についてだが、いろいろな案内や紹介があるが、多言語化したときに翻訳が間違っていたりして正しい情報が伝わらないという意見があった。」

ヘイ委員長「では、続いてBグループの報告をお願いします。」

ヒラチャン委員「話が盛り上がったのは、住宅・住居、医療・病院、防災、年金とその他だ。住居・居住についてだが、入居差別の話はいつも出てくるが、外国人を入居させる大家さんの不安な気持ちもわからなくはないということで、外国人に日本のマナーを教える説明会のようなものがあるとよいのではないかと意見が出た。医療・病院では、医療通訳に関して議論が盛り上がった。制度自体は悪くないが、もう少し柔軟に対応して欲しいという意見が出た。Bグループでは、防災が一番盛り上がった。外国人のことも意識したイベントなども結構開催されているので、こういったイベントに積極的に参加した方がよいといった意見が出た。子どもは学校で避難訓練などの機会があるが、どちらかというと大人の方が知識がないという意見が出た。年金については、制度が複雑でわかりづらいということで、やはり資料だけではなく、直接質問ができたりする説明の機会があるとよいという意見が出た。今の話も踏まえて、情報をどう伝達するかという問題について、やはり10期の時に提言したような気軽に質問や相談ができたりする国際交流ラウンジのような場所の必要をあらためて感じたという意見も出てきた。」

蔣委員「いくつか補足する。まず、介護と高齢者について。介護保険に入る必要があるということを、知らないという人が多かった。就労と仕事では、2020年のオリンピック・パラリンピックで外国人の仕事、とくにサービス業が増えるのではないかと意見があった。あとは、ハローワークの対応を改善して欲しいという意見もあった。観光では、この前視察に行った市民ミュージアムや藤子・F・不二雄ミュージアム、民家園をもっとアピールした

方がよいという意見があった。全体として、Bグループでは相談できる場所や情報が欲しいということ、それと自分でも積極的に情報をとりに行くことが大事だという意見が多かった。」

ヘイ委員長「次に、Cグループから報告をお願いします。」

ピーターソン委員「Cグループでは、一番盛り上がったのは、入居差別と医療だ。最初に、この外国人市民代表者会議の認知度が低いという意見が出て、実際にチラシが届くまで知らなかったという人が結構いた。入居差別については、ほかのグループでも意見が出ていたように、外国人への入居差別はまだ多いということを感じた。Cグループでも経験したという人がいた。あとは、公営住宅の制度があまり知られていないという問題があげられた。医療・病院については、医療通訳制度があるが、事前の予約が必要で、緊急時には利用できないという問題についてとくに話し合った。あと、防災については、日本人でもおそらく同じだと思うが、災害時にどこに行けばいいのかわからないという意見があった。町内会に入ることによっていろいろな情報を知る機会が増えるのではという意見もあった。」

河委員「残りのテーマについて、簡単に報告する。年金については、日本人でもよく制度がわからないということが多いのと国の制度なのでこの会議でどこまでできるのかという話になった。外国人からすると、日本にどのくらい住むのかわからない状況で払うということに疑問点や不満が多くある。介護・高齢者に関しては、高齢者用の施設は増えてきているが、経済的な負担が大きいという問題がある。それと、これから外国人の高齢者が増えてきたら言語的な問題が課題として出てきて、外国語が話せるヘルパーも必要になってくるだろうという意見も出た。就労・仕事に関しては、企業のグローバル化は進んでいるものの、実際には日本語ができないとなかなか採用されないということがある。そのほか、ハローワークをうまく活用するとよいという意見や子育てとの両立ということについても意見が出た。観光に関しては、2020年のオリンピック・パラリンピックもあり、川崎市を紹介するパンフレットを外国人の方が多く出入りするターミナルなどに置くとよいのではないかと意見があった。そのほかでは、民族文化講師の活動をもっと広めて充実させて欲しいという意見もあった。」

ヘイ委員長「では、最後にDグループからお願いします。」

タカハシ委員「一番盛り上がったのは医療・病院だが、あとに回したい。先に、地域

生活についてだが、いろいろなイベントに参加した気持ちはあるが、あまり参加できていないという意見があった。Dグループでも町内会の話が出てきたが、基本的に情報は日本語しかないの、日本語ができない外国人には利用できないと思う。住宅については、大家さんが不安ならば短期で貸すというのはどうかというアイデアも出た。防災については、調査の結果では外国人市民も何かしら準備をしているようだが、実際に何か起きたら、どうしたらよいかわからないという意見が出た。」

キースタ委員「年金については、Aグループと同じように加入した方が得をするのか損をするのかよくわからない、という意見が出た。それと脱退一時金が少ないのが残念だという意見もあった。ただ、あまり具体的な提案にはつながらなかった。介護については、介護制度についての意識が低いということがあるが、一方で今後は大きな課題になってくるのではないかという意見が出た。今から何か対策を考えておいた方がよいのではないか。労働については、仕事に困っているというよりも、これから外国人労働者が必要になってきたときに、暮らしやすい、住みやすいように何が提供できるのかということを考えるのが重要という意見が出た。観光については、先ほどのグループと同じように、せっかくすごく便利な場所にあるので、もっと市のアピールをした方がよいという意見が出た。」

タカハシ委員「Dグループで一番盛り上がった医療に関してだが、日本語がばかりなので行くのが不安という意見が出てきた。受付まで行けたとしても、その後どこに行けばいいかわからない。それと、通訳の制度があることもわかったが、予約が必要なので利用しづらいという意見も出た。また、緊急時には利用できないという問題もある。改善策として、区役所でも使っているタブレットを利用したらどうかというアイデアが出た。それと、かわさきのお医者さんというサービスがあるので、それをもっと利用してもらおうという意見も出た。ほかにも、病院のドアなどに対応できる言語を貼ってもらうのはどうかというアイデアも出た。」

ヘイ委員長「各グループの報告が終わったので、残りの時間で質疑応答とディスカッションをしたい。最初に、質問を受けつけたいが何かあるか。」

葉委員「Bグループで出たハローワークの対応を改善して欲しいというのは、具体的にどういうことか。」

バルトコバ委員「川崎のハローワークに行ったことがあるのだが、今は日本人でも

仕事がないので、外国人は見つかりにくいと言われ、対応があまりよくなかった。新宿のハローワークに行ったら親切に対応してくれたので、川崎でも改善して欲しいと思った。」

ヘイ委員長「ほかに質問はあるか。(なし)何か議論したいことや意見はあるか。」

徐委員「ひとつ、提案したいことがある。グループワークを通して、私もいろいろな情報があるということを知って、勉強になった。ただ、日本に来たばかりで、日本語が読めない、話せないという人には、なかなか情報を活用できないと思う。そこで、初めて日本に来た人たちに日本で生活するためのセミナーやプログラムのようなものを定期的に開催したらどうかと思う。もしセミナーをするのであれば、たとえば通訳など私たちも協力できることがあるかなと思う。」

ザスカ委員「町内会という話がいくつかのグループで出ていたが、町内会に入ったら解決するのかといたら、そういうわけでもないと思うので、やはり情報を欲しい人が手に入れることができるよう制度をきちんと整える必要があると感じた。」

牟委員「たとえば、海外から来たばかりの子どもには総合教育センターで面談があるので、そのときに渡すのもよいのではないかと思う。」

キースタ委員「入居差別についてだが、受け入れるかどうかは大家さん次第という部分が大きいと思うのだが、市には何か具体的な取組ができるのか。」

事務局小川担当課長「川崎市には居住支援制度という制度がある。この制度は先ほど出てきた大家さんたちも参加して一緒に仕組みをつくっている。まだ、大家さんの参加が少ないという課題はあるが、市としては参加する大家さんを増やしていくことで差別も減っていくだろうと考え、働きかけるようにしている。」

ヘイ委員長「ほかにあるか。(なし)それでは、時間が迫っているので、ここでグループワークについてのディスカッションは終わりにする。ここからは、前半で保留にしていたオープン会議のテーマについて話し合って決めたい。まずは、オープン会議で話し合うテーマの候補をあげて欲しい。」

ディットマー委員「日本語学習がよいと思う。前回や今回のグループワークでも感じたのだが、日本語学習をきちんと支援して、日本語を学習したら、多くの問題が少し緩和されるのではないかと思った。日本語ができるようになれば、それ

だけ情報を入手しやすくなる。少しでも日本語ができるようになることで、改善される問題は多い。」

ヘイ委員長「私も情報の多言語化も重要だと思うが、一方で外国人が日本語を学習することも大切だと思う。」

ホサニ委員「私は防災がよいのではないかと思う。」

ゲゼングア副委員長「今日のグループワークではあまり盛り上がらなかったようだが、2020年にはオリンピック・パラリンピックもあり、川崎市としても外国人を呼び込みたいという考えもあるだろうから、観光というテーマもよいかもしれない。」

徐委員「外国人に日本での生活マナーなどのことを知ってもらうという意味で、国際理解を入れたらどうか。」

ヘイ委員長「国際理解自体はもう少し広いテーマをカバーしていると思う。何を話すかは、参加者の希望もあると思うのであまり限定しない方がよいと思うが、ひとまず徐さんのアイデアも含めて候補に入れよう。」

バルトコバ委員「10期に提言したラウンジの設置もテーマに入れたらどうか。」

ヘイ委員長「ラウンジについては、提言にもなっているので「その他」の中で話したらどうだろうか。ほかにあるか。（なし）それでは、資料にある案と今あがったものを候補にして決めたい。1人3回まで挙手ということでお願いしたいが、その前に「その他」について少し話をしたい。正副委員長会議のときには、参加者がある程度話したいことを話せるように、テーマを限定してしまわないように「その他」というのをいれておいた方がよいと考えたのだが、みなさんはどうだろうか。」

ピーターソン委員「私は、あった方がよいと思う。」

ヘイ委員長「では、まずは「その他」について決めたい。「その他」を残すことに賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）では、「その他」はテーマの1つとして残すことにする。テーマの数については、時間を考えるとあと2つか3つが適当だと思う。テーマの数について先に決めたい。「その他」のほかに2つがよいという人は手を挙げてください。（4人）では、3つがよいという人は手を挙げてください。（賛成多数）では、テーマは「その他」を含めて全部で4つということで、残りの3つを決めたい。1人3回まで挙手ということでお願いする。」

< 挙手 >

- ・ 情報、行政サービス (→ 10 人)
- ・ 子育て、学校 (→ 15 人)
- ・ 医療、福祉 (→ 8 人)
- ・ 日本語学習 (→ 11 人)
- ・ 防災 (→ 10 人)
- ・ 観光 (→ 7 人)
- ・ 国際理解 (→ 8 人)

ヘイ委員長「「子育て、学校」と「日本語学習」が決まりだ。「行政、情報サービス」と「防災」が同数なので、この2つでもう一度挙手をお願いする。」

< 挙手 >

- ・ 行政、情報サービス (→ 11 人)
- ・ 防災 (→ 12 人)

ヘイ委員長「では、僅差ではあるが、「防災」に決まった。ということで、オープン会議では、「子育て、学校」「日本語学習」「防災」「その他」の4つのテーマでグループディスカッションをする。それでは、次の議事に移る。次は、実行委員会報告だ。まずは、臨時会実行委員会の報告を私からする。今日の実行委員会では、役割分担を決めた。会場係は、スタントさんと牟さん。受付案内係は、タカハシさん、幕内さんと徐さん。交流パーティーは、蔣さんと韓さんだ。それと、資料には載っていないが、今日の会議が終わるとすぐにオープン会議だ。昨年もそうだったが、事前にグループワークの打ち合わせや練習をした方がよいという意見が出たので、今年も事前に集まって準備をした方がよいと思う。日程については、あらためて事務局から連絡が行くと思うので、協力をお願いする。次に、市民祭り実行委員会から報告をお願いする。」

ホサニ委員「まず、多文化フェスタさいわいについて報告する。当日は、午前中は忙しかったが、午後は雨が降ってしまったこともあり人の出入りが少なかった。内容としては、オープン会議のPRやゲームについてもインターナショナル・フェスティバルと同様に問題なくできた。次に、市民祭りについては、役割分担を決めた。当日は、午前中にパレードで、お昼からはテントでいろいろなゲームをしたり、お茶を出したりということを考えてい

る。実行委員だけでは少ないので、ぜひみなさんの参加をお願いする。」

ヘイ委員長「最後にニューズレター編集委員会から報告をお願いする。」

ドイツマー委員「今日はNo. 59の内容について決めた。発行は3月末の予定だ。

担当については、オープン会議の感想を金さん、「川崎市に住む外国人の皆さんへ」というパンフレットについてをジェリーさん、それと、今年のシリーズとした世界のおすすめスポットについてを、ブラジルのアマゾンというテーマで鎌田さんに書いてもらうことになった。」

ヘイ委員長「今日の議事は以上だ。最後に、事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・かわさき市民祭りについて
- ・議事録の確認について
- ・オープン会議について

ヘイ委員長「何か質問はあるか。（なし）ないようなので、終わりにする。次回の会議は11月20日、日曜日、午後2時から高津市民館でのオープン会議になる。11月6日には市民祭りもあるので、みなさん参加をよろしくお願いする。それでは、これで2016年度第3回第1日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」